

# 町田をもっと住みやすい 安全なまちにしたいから。

NPO法人 顧問建築家機構



前列左から小田千里さん、前島正光代表理事、神長一郎さん、齋藤和男さん <http://www.komon-aa0.org/> 042-723-6866

The Machibito — Chikiri ni Ikinu

住宅や職場など、建築物やその周辺環境は安全で快適であることが理想だが、想定外の様々な問題が発生しているのが現状だ。避けられない自然災害や、人災とも言える悪質業者による欠陥住宅、昨今急増している空家対策など、そんなトラブルに対処しなくてはならなくなったら私たちはどうしたらいいだろう。

**建** 築とまちづくりに関する各分野の専門家25名で構成された顧問建築家機構は2003年12月にNPO法人として組織された。代表を務める前島正光氏は一級建築士として50年以上、現場の最前線で建築とまちづくりに携わってきたプロフェッショナルだ。定年退職し、自身の知識を地域に還元できたなら、と

思いNPO法人を立ち上げた。会員は前島氏と同じ一級建築士をはじめ地盤や振動、インテリア、音響から造園、商業コンサル、そして弁護士や税理士まで、建築とまちづくりやそれに付随するあらゆるジャンルの専門家たちが幅広い知識で支援を行っている。設立以来、公平かつ中立な立場で一般市民や企業、行政を対象に活動を展開してきた。地道で繊細な仕事だが、地域の「困った」案件に、献身的に取り組んできたのだ。

**「家** は大切な資産。ですが専門的な知識を持っていないために、住まいの様々なトラブルに巻き込まれる方も多く、私たちのところへもそんな方がたくさん相談にみえました。ま

た、情報がこれだけ氾濫している現在、正しい情報の見極めは素人の方では難しく、専門知識を持った我々には是非ご相談いただきたい。私たちは公平中立な立場で皆さんを支援する専門家集団。家を既に建てた方もこれからの方も、悩みや疑問があったら是非、気軽に相談してほしいんです。」

毎年12月に開催される「まちカフェ!」では住宅に悩みを持つ市民の相談窓口としてブース出展を行い、多くの市民の相談のつてきた。また、市民への正しい知識の周知を図るため、毎年シンポジウムも開催している。

**個** 人向けの相談だけではなく、町田市から委託されている業務もある。例えば「集会所整備事業登録アドバイザー」として町内会・自治会の集会所の改修や、建替えのアドバイスを行ったり、市内にある調整池の有効利用の提案業務もその一つだ。かねてより提案していた小山町の調整池は市民が幅広く利用できるスポーツ広場への転換が決定している。「町田市木造住宅簡易耐震診断業

地域社会の大きな課題となっている空家問題にも精力的に取り組む、「町田市空家利活用支援業務」として、また独自の相談窓口「空家みちるべ」を設けて、空家対策と連携したまちづくりを目指している。

町田の人たちが安心して暮らせるように、そして豊かなまちづくりを実現するために、決して派手ではないが、こうした支援を継続して行っていきたいという前島氏。

「課題は認知度が低いこと。困っている人にもっと知ってもらって、トラブルに巻き込まれる人を一人でも減らしたい。町田をもっと住みやすい安全なまちにしたいから。」

専門家としての知識を困った人たちが、町田のために使いたい。地域貢献という地道な活動はこれからも続いていく。



A. 代表理事の前島氏は町田市特定空家等対策審議会や建築紛争調停委員会等の委員ほか、多くの公職も務めている B. 空家対策をテーマにした昨年の「まちカフェ!」では多くの相談者が訪れた C. 木造住宅耐震化個別相談の様子。毎年町内会へも出向き、相談会を行っている D. 町田市内の町内会から送られたたくさんの感謝状が並ぶ



田田市木造住宅簡易耐震診断業

